

10月13日

テーマ：レプタをささげた女の人

聖書箇所：マルコの福音書12章41～44節

◆今日のみことば

みなは、あり余る中から投げ入れたのに、この女は、乏しい中から、あるだけを全部、生活費の全部を投げ入れたからです。」
マルコの福音書12章44節

◆メッセージ

教会学校では、礼拝の中で献金をしますね。あなたは、「お母さん、献金ちょうだい。」といただいて、それを献金にしますか？それとも、おこづかいの中から自分で決めて、献金しますか。

イエスさまは神殿の献金箱に向かって座っておられました。大勢の人々が献金を投げ入れていました。お金持ちの人はたくさんの献金を投げ入れていました。音がしていたかも知れません。ジャラジャラー。次の人もジャラジャラー。大きな音です。いかにもたくさん献金したような。そこにひとりの女の人がやってきて献金を投げ入れました。コン、コン。



人々の様子をじっと見つめておられたイエスさまは、お弟子さんたちをお呼びになり、おっしゃいました。「この女の方は、献金箱に投げ入れたどの人よりもたくさん投げ入れました。」と。「コンコン」と、ほとんど音がしないくらい。レプタ銅貨はいちばん安くて小さなお金でした。でもイエスさまは、この貧しい女の方がだれよりもたくさん投げ入れたとほめてくださったのです。

イエスさまはどうしてこのように言われたのでしょうか。イエスさまはささげる人の心を見ておられたからです。この女の方はとても貧乏でした。結婚していたご主人が先に亡くなってしまい、一人で生きていかなければなりません。このレプタ二個をおささげしてしまったらその後、

食事をすることができないくらいでした。

でも女の方は知っていました。神さまは、食べ物も服もおうちも、生活に必要なものは全部備えてくださるお方であることを。だから、持っていたもの全部をささげました。乏しい中からあるだけ全部、生活費の全部をおささげしたのでした。神さまのことを心から信頼して感謝してささげたこの女の人を、イエスさまは喜んでくださっています。あなたはどんな思いで献金していますか。自分に与えられている中から、喜んでささげたいですね。

◆お祈り

神さま、これからも、心から感謝して献金をおささげできますように。アーメン。

(浜松中沢教会伝道師 小川紀子)